

# 第3号

発行：Dream 五代塾

吹田市千里山西 5-14-17

発行責任者：理事長 川口 建

「赤心」懸が心

Dream

# 五代塾

Godaijuku

# Sinbun (新聞)

## 五代の名誉回復を

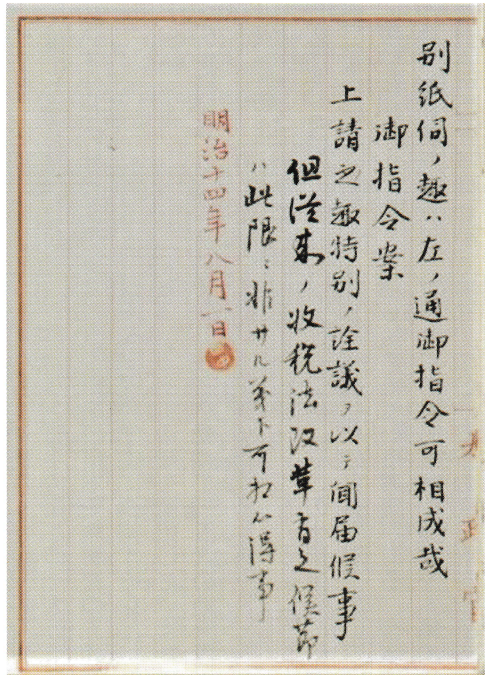
### 開拓使官有物払い下げ事件

Dream 五代塾顧問 八木孝昌

「今此輩（開拓使大書記官安田定則以下四人の上級官吏のこ）に説諭し、官を解き、一社を團結せしめ、別記の方法を以て工場其他を払下、当使の計画を継続せしめ」と開拓使長官黒田清隆は明治十四年（一八八一）七月二十一日付の太政大臣三条美実宛文書「工場其他払下処分儀に付伺」で提案している。

この提案は、明治十四年八月一日付の政府文書に「上請之趣特別の詮議を以て聞届候事」と記されて承認されている（画像参照）。

上記二件の文書はいずれも国立公文書館が所蔵する政府資料であり、「開拓使官有物払下許可及び取り消しの件」で検索できる。当政府資料は、黒田開拓長官の提案を政府が承認したことを示す明々白々の証拠記録である。承認の内容は、開拓使上級官吏四人が退職して設立する民間会社（北海社）に工場その他の開拓使官有物を払い下げることである。



黒田長官「伺」の政府決裁文書（国立公文書館所蔵）

#### 高校日本史教科書の

#### 間違い記述

ところがこの件について、たとえば美教出版の教科書『高校日本史B新訂版』（平成二十九年検定済、令和二年発行）は

「政府は北海道開発のため、明治初年以來、工場・農園・鉱山など、開拓使（長官は薩摩出身の黒田清隆）の官有物に一四〇〇万円余を投じてきた。これを三八万円、無利息三〇〇年賦で、開拓使の官吏と薩摩出身の政商五代友厚らが経営する関西貿易社に払い下げることとした。世論は藩閥官僚と政商が癒着しているとしてげげしく批判した」と書いている。

上に見たように、官有物の払い下げ先は「関西貿易社」ではなく、北海社である。また「開拓使の官吏」は関西貿易社の経営者ではない。教科書は事実と反することを書いて、五代をまるで悪徳商人であったかのように貶めている。

「政商五代友厚の関西貿易社に開拓使官有物が不当な安値で払い下げられようとした」という誤りの記述は、他の教科書にも見られる。清水書院も山川出版社も東京書籍もその他の教科書会社も大同小異である。歴史の資料を少し調べただけで間違いと分かることを教科書はなぜ真実として記述するのか。理由は、それが歴史学界の定説になっているからである。平凡社の『日本史事典』も岩波書店の『日本史年表』もその説を採用している。



美教出版『高校日本史B新訂版』（令和2年）

#### 東京横浜毎日新聞の誤報

事の始まりは、東京横浜毎日新聞の明治十四年七月二十六日から三日間連載された社説「関西貿易商会の近状」にある。同社説は、「（社説子に寄せられた情報では）関西貿易商会は開拓使と約して北海道の物産を一手に引き受けようとしていると書き、それが真実であれば由々しいことだと政府を批判した。しかし、この情報は上に見た通り誤報である。

実際、八月五日付の朝野新聞が「論説」でいち早く東京横浜毎日新聞の誤報を指摘した。同紙は、「我輩の聞く所は（中略）開拓使中四五人の官吏は今回北海道政略上の変革あらん事を察し、自から其の官職を辞して商賈（商人）となり、従来該使が有する三十余ヶ所の製造所に就き、其の最も利益あるものを払い下げ、以て北海道の商権を掌握し」と書いて、官有物払い下げ先は五代の関西貿易社ではなく、開拓使官吏が退職して設立する民間会社であると述べた。

開拓使官吏が自分たちの利得追求のために官有物払い下げの受け皿づくりをしているかのような説明は、極論と言わざるをえないけれども、払い下げ先がどこであるかについては同紙は正しい報道をしたのである。そういうことがありながらも、十月十二日

に至り、政府が払い下げの取消しと明治二十三年(一八九〇)の国会開設の勅諭を発表したことにもって、官有物払い下げへの批判は自然消滅した。

### 大久保利謙誤謬論文の定説化

ところが七十一年の時をへだてた一九五二年、歴史学者大久保利謙が発表した論文「明治十四年の政変」は、東京横浜毎日新聞の誤報を資料にして、次のように書いた。

長官の黒田清隆は(中略)関西貿易商會に僅々三八万円、しかも無利息三〇ヶ年譜という破格の低廉な価格で払い下げようとした。これが問題となったのである。(中略)「東京横浜毎日新聞」は「関西貿易商會の近状」という社説をにかけて事件を暴露して、これから世論の沸騰となった。これがいわゆる開拓使官有物払下問題である。

関西貿易社を「関西貿易商會」と誤記している点を含めて、この論文は東京横浜毎日新聞の誤報をそのまま真実として扱っている。およそ論文の態をなしていない。にもかかわらず、大久保利謙文はその後「明治十四年の政変」の定説となった。

一九九一年に刊行された『大久保利謙歴史著作集2』の解説が、「同論文の学説史上の位置は、発表後、すでに三十余年をへた現在でもなお、その水準を凌駕したものがない」と書いていることから、そのことはうかがえよう。

こういう流れの中で、高校の日本史教科書は「大久保利謙の『政変』」の官有物払い下げ説を載せるようになった。

### 五代の名譽回復を

日本の近代化に多大の寄与をし、「大阪の恩人」としてたたえられた五代の名譽が損なわれているのを放置しておいてよいのか。よう

やくこのことが課題となろうとしている。

五代友厚を開学の祖と仰ぐ大阪市立大学では、学長が高校日本史教科書の五代事項書き替えを文部科学省に要望するなど、五代の名譽を回復する活動を開始した。また大阪市立大学の活動を受けて、五代の地元鹿児島でも五代名譽回復の機運が生まれている。

その背景には、この十年余りの研究の蓄積が、政商五代への官有物安値払い下げ定説を崩し始めたという事実がある。官有物払い下げ事件における五代の無実を本格的に唱えたのは、二〇一〇年の住友資料館研究顧問末岡照啓の論文「開拓使官有物払い下げ事件」再考であった。

二〇一八年に出た『明治史講義(テーマ篇)』の第十講では、早稲田大学教授真辺将之が「開拓使官有物払下問題についても、誤った事実が広く流布している」として、払い下げ先は五代友厚の関西貿易社ではなくて、開拓使上級官吏が設立した「北海社」とであると記述した。

二〇二〇年には拙著『新・五代友厚伝』が従来の定説の誤りを詳細に指摘し、五代の無実を明らかにした。

そして今年二〇二一年二月に出た武蔵野学院大学教授久保田哲著『明治十四年の政変』は、官有物払下先について「安田・折田が設立した北海社であった」と明確に記述した。

このように、従来の定説を間違いであるとする五代無実論が次々に世に問われているのである。

さらに、昨年は五代の映画「天外者」(監督・田中光敏、主演・三浦春馬)が上映された。今年は大河ドラマ「青天を衝け」にディーン・フジオカ扮する五代が登場している。

機は熟した。今や日本史教科書の書き替えを求める秋(とき)、濡れ衣を晴らして五代の名譽を回復する秋である。

## 五代才助 いざ世界へ 富国のために!! (中)

Dream 五代塾理事長 川口 建

### 留学生の旅立ち

元治2年(1865)4月17日(旧3月22日)早朝、最初の停泊地香港に向かった。この時点では異文化とはどのようなものかは想像もつかない。彼らが早速体験したのは、武士の魂である腰の大小を半ば強制的に箱に収めさせられ、無刀の状態となった。また、船酔いに悩まされ続け、彼らには拷問にも似た苦しみに襲われた。さらに、鬚の姿を見る異人たちの屈辱的な態度に我慢が耐えられず断髪を決意した。新納、松木、五代、堀を除き全員が断髪を履行したのは3日後のことであった。

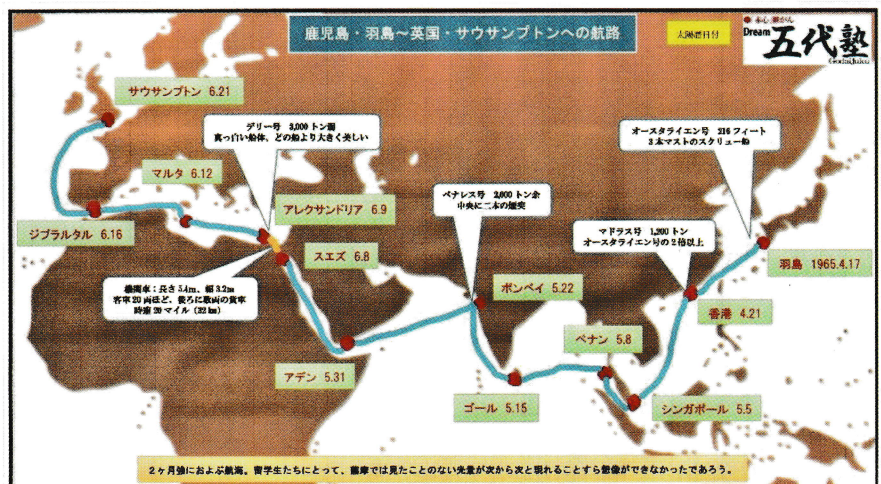
4月21日ようやく香港の港に到着。一行が最初に見た異国は、海岸から山の斜面にかけ一帯が燈火で輝きわたり、なんとも言えない美観を呈していた事であった。後で聞くとガス灯である。また、湾内では大小の船舶がひしめき停泊し、大変な活況であった。

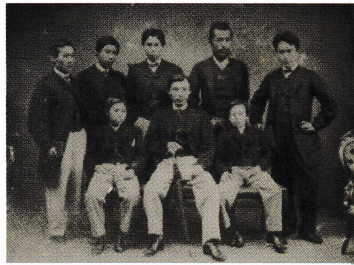
### 無知蒙昧(もうまい)を悟る

上陸に際しては、着物姿で歩いては偉人たちが失笑を買うということで、ライル・ホームが人数分の洋服・帽子・靴などを揃え、初めての異国の地香港の市内見物にかけた。15名の留学生たちはこの後の東洋圏から英国までの間に船上や寄港地で文化・近代化面において多くの体験をした。事例をあげてみた。東洋圏 <香港> 九龍半島にあるドックの見学とその近代的諸設備・造船技術に驚嘆。

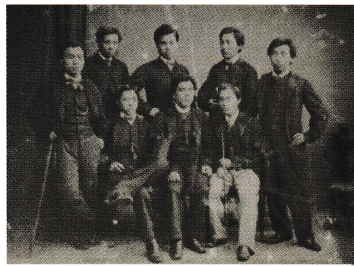
<シンガポール>「ジャンク」と呼ばれる商売用の小舟が港内所狭しとひしめき合っている光景に目をみはる。夫婦が別離に際して交わす「接吻」。「パイナップル」という珍菓を食べ、その美味に驚く。船中灼熱の中「アイスクリーム」なる水菓子を食べる。 <ゴール>城塞見学。椰子の実を食べ、また「コフヒ」(珈琲)を飲む。 西洋圏

<ボンベイ>猛烈な炎暑を体感。近代的都市の美しさに驚く。市庁舎・商業会議所・州立法院などの諸官庁、銀行・大学・図書館などゴシックスタイルを模した6〜7階の高層建築、馬車を通る立派な道路などの欧風都市を生まれて初めて見る。





(後列左から) 田中静洲・町田申四郎・鮫島誠蔵・松木弘安・吉田巴二  
(前列左から) 町田清蔵・町田民部・磯永彦輔



(後列左から) 高見弥一・村橋直衛・東郷愛之進・名越平馬・中村宗見  
(前列左から) 畠山丈之助・森金之丞・市来勤十郎

高くないホテルではあるが、1ポンドは2両3歩。日本では1両で町民が半月暮らせる金額である。1両を10万円とすると一泊26万円ほどにあたる。(日本の貨幣価値が低い)

- ・森有礼：初代駐米公使、文部大臣
- ・高見弥一：鹿児島県立中学造士館数学教員
- ・吉田清成：駐米特命全権公使
- ・長沢鼎：米国永住・カルフォルニア葡萄酒王
- ・中村博愛：駐オランダ・駐アンマーク公使
- ・一方、五代は留学生たちの勉学環境を整え、自身の主目的である経済使節の役割に新納、堀と共に奔走する日々を送ることになる。
- (犬塚孝明著『薩摩藩英国留学生』 林望著『薩摩スチューデント西へ』参照)
- 「五代才助 いざ世界へ 富国のために!!」は次号へ続く

演じる三浦春馬さんの言動をたどると、その美しさは外見だけではなく内面にもあり、五代さんと相通じるところに惹きつけられていきました。撮影に入る前の2年間、五代さんについて学び時代劇に必要な所作殺陣を習得されたのは周知の通りです。ご自身が「完全燃焼した。悔いはない。自分の代表作にしたい」と言われた自信作です。彼の魂の込められた熱演は五代さんが春馬さんに降りてこられたと思うのは私だけではないでしょう。映画「天外者」に魅了され続けている理由がそこにあ

「アデン(スエズ)暑気も一段とましした船上から、延々と続く不毛の地を眺望。「スエズ」珍妙な動物「ラクダ」を見る。「製氷所」を見学。蒸気を利用した機械で氷が製造され、天然の氷と同じであると驚嘆する。スエズ運河の工事は幅22m・深さ8m、長さ164kmと壮大で、最新鋭の蒸気掘削機を使用し改めて西欧の先進技術の見事さに感嘆する。蒸気車に初めて乗る。3年前には幕府第一回遣欧使節の一員として松木は乗車経験あり、留学生たちは事前に話は聞いていたものの黒煙を吐き轟音を響かせて走る異様な形をした大きな物体を目の前に見て、恐怖にも見た驚愕を感じた。平均時速40キロ「疾風の如き早さ」と感じた。

「カイロ」車中から「フミッドや水牛・駱駝・羊の群など車窓から見る特異な景観を満喫した。所々で銅線や鉄線を引き張った木柱が「伝信機」と教えられた。アレクサンドリア到着時の手際の良い迎えも理解ができた。

「マルタ」紺碧の地中海はインド洋、アラビア海と比べると格段に涼しく気分がいい。

一行は、ロンドン大学キングス・カレッジ↓バッキンガム宮殿↓ハイドパーク(1851年の万国博覧会場)↓国立園芸協会の庭園(幾何学的に分割された庭園に美しい花がいっぱい)を経由し、本日の仮宿となるサウス・ケンジントンホテルに夕方9時すぎに到着した。

因みに宿泊費は、一泊1ポンドとそんなに高くないホテルではあるが、1ポンドは2両3歩。日本では1両で町民が半月暮らせる金額である。1両を10万円とすると一泊26万円ほどにあたる。(日本の貨幣価値が低い)

■ 留学生一軒屋で共同生活

1865年6月22日の朝、留学生はハイド・パークの西に隣接するケンジントン・ガーデンズという庭園の北側、ベイズウォーター地区に6階建ての一軒を借り、薩摩16人、英語教師夫妻、家政婦の共同生活を始める。

新納、五代、堀は引き続きケンジントン・ホテルに逗留し経済活動の拠点とした。

尚、後日7月2日日曜日に長州の遠藤謹助28歳、山尾庸三27歳、野村弥吉21歳の訪問を受け、藩の壁を外して英国の情勢を語り、将来の親交の機会を得た。(長州ファイブの3名。伊藤俊輔、井上多聞は帰国済)

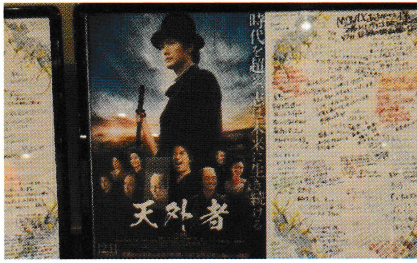
留学生一行はロンドン大学入学となったが、長澤は当時まだ13歳で、一緒に大学に入れず、8月19日にトーマス・グラバーの実家に世話になる事でロンドンを離れた。アバディーン・ジムネジウムという100年以上の歴史を持つ当地有数の名門校で勉強することになる。

## Topics

### 映画「天外者」を観て

Dream 五代塾会員 岡野秀子

「天外者」とは「とてつもない才能の持ち主」である。この世に生れた人は誰もが「天外者」と田中光敏監督と三浦春馬さんはおっしゃり、タイトル決定に至った理由とのこと。皆、意味があり生れてくるので、生きることや人を大切にすると五代さんの人間愛に満ちた半生に感動を覚えます。



MOVIXあまがさき・ファンのメッセージ写真

また、女性を大切にしているところにも強く印象に残りました。五代さんに「男も女も関係なく、夢のある世の中にする」ことを気づかせるのが地位もなく立場の弱い遊女からであること。五代さんが利他の精神を持つきっかけを女将が与えていること。彼女達からの言動に気付かされたことは五代さんにそれを受け入れるだけの懐が深かったからだと思えます。当時では珍しく五代事務所女性社員が働

ります。田中監督によると「五代を知らなければ知るほど共感を覚えると春馬くんから言われた。彼と五代という役柄の出会いには素晴らしいことだと思っている。」(台湾上映時記事)坂本龍馬と船のラストで未来を語るシーンで春馬さんは坂本龍馬役の三浦翔平さんがラストに登る時に下で支えています。この何気ない気配り、優しさが真心であり、私の心に響きます。映画からみた五代さんの利他の精神について着目したシーンがあります。才助が捕虜から逃れた時、梅もこの女将に「五代様、生きる為にあなた様は何を売れますか?」と問われて答えられず立ちすくみます。その時の答えとして、14年後に大阪商法会議所初代会頭就任演説が行われ「何も持たない者は俺を利用しろ」に表現されたのだと思います。「何も持たない者」他人に自分を利用して良い」と差し出す相手の身になって考える思いやり、五代さんの志である「赤心」とは「真心」とのこと。私なりに納得した次第です。

き、ラストでは女性カメラマンがいます。五代さんを取り巻く女性は彼を温かく包み込みます。世間からは冷たい目で見られている五代さんを支える女性、母やすさんと妻豊子さん。

最後に映画「天外者」を製作され、この世に出すご苦労をされた方々に厚くお礼を申し上げます。五代友厚製作委員会、田中光敏監督はじめスタッフの皆様、主役三浦春馬さん、出演者の皆様ありがとうございました。

【情実】に流されない

Dream 五代塾理事 川口由美子

五代友厚の生涯を俯瞰的に見てみると、基本的に幼いころより【情実】に流されない性格であったのではと感じる。【情実とは】個人的な利害、感情からんで公平な取り扱いができない関係や状態のこと。

五代の育った薩摩藩では、武士の子弟が先輩後輩で学問や武術を教えあうという郷中教育システムで【負けるな、うそを言つな、弱いものをいじめな】という土道の基本を徹底していた。この負けるなは他人に対してではなく、自分に負けるなである。

郷中教育で、四書五経の教えなどを、詮議いゆるディベートの中で起こりがちな言い争いや、喧嘩に発展する際には決まって仲裁役として五代が呼ばれ理路整然と議論に割って入り丸く収め、聴くものを納得させる弁舌や交渉術があったようだ。

いくら仲間であっても、誰が、何が正しいのか採め事などの仲裁に五代は舌を尽くして相手を説得、納得させ治めていたとある。

また長じては外国事務局判事としての仕事に對して、長崎伝習所時代からの知り合いであり、英国留学やその他各方面で非常に世話になっていたグラバーに對して、輸出許可のない商品を大阪から積み出したときには、イギリス副領事官あてに告発と抗議文を提出するなど、外国人の不正を厳しく取り締まった。伊藤博文から取り締まりの手を緩めてはどうかと言われたが拒否、結果グラバーは利権の獲得に失敗し借金を抱えて破綻している。

また同じくベルギー生まれのフランス伯爵家の出自であるモンブランに對しても、欧州視察中に商社設立の条約を締結したり、パリ万博への出展や、薩摩藩への建言書などへの考え方など、欧州視察の成果に非常に影響を及ぼした人物であったが、電信設置などで利権を得ようとする行動に對して厳しく対応し、日本の未来を守っていた。

この様に基本的に日本を外国の植民地にしないために、また未来のため何が必要で、何が阻害するものかの判断が決まっています。これに對して【情実】に流されず貫き通していることが五代の五代たる所以かと思つた。

それはとりもなおさず【目的】がはっきりしているからだ。

民に下る頃【惣難獣】と題した戯画と時勢風刺を書いている。「頭に権を頂き、頭でつかちにして、面の皮が厚い、鼻が高く天狗のごとき口広くして舌が長く、ある時は二枚になる。悪毒を吐き、人書をなす。肩より爪を生やし、ことに長い。金銭をつかむこと驚、熊、鷹のごとし。背に翼を生やして今日はここかと思えば



大阪商工会議所蔵

翌日には他所へ・・・(略)」

転じて、現在の日本にはびこっている政治的な出来ごとは、ほとんどの人が【情実】に流され、曇った眼でことを推し進めているように思う。五代が今のこの体たらくを見たとき、ただ未来へと命を縮めて頑張っていたのは一体何のため、誰のためであったのかと嘆き悲しんでいるように思えてならない。

編集後記

歴史を学ぶのは難しい。「歴史は疑ってかかれ、反対の立場から考察せよ」と教えられた記憶がある。また、「歴史は勝者の記録であり、長寿で自叙伝を書ける余裕のある人の記録が優先する」という話も聞く。新聞紙上に古文書が見つかったから歴史が変わる、といった記事が出る。これも当時どのような目的・趣旨で書いたものかによっては正確ではないかもしれない。なかなか難解である。本掲載した「開拓使官物払い下げ事件」に関しては上記以前の問題である。歴史家と言われる多くの学者の方々でさえ前例主義踏襲で事実を掴もうとする意思も見当たらない。全くの怠慢であり、反面教師としたい。(川口建)

会員募集中 詳細 Dream 五代塾 HP <https://www.dream-godai.com>  
連絡先 川口建 携帯:080-4497-5688 Email:gogoken12345@gmail.com